

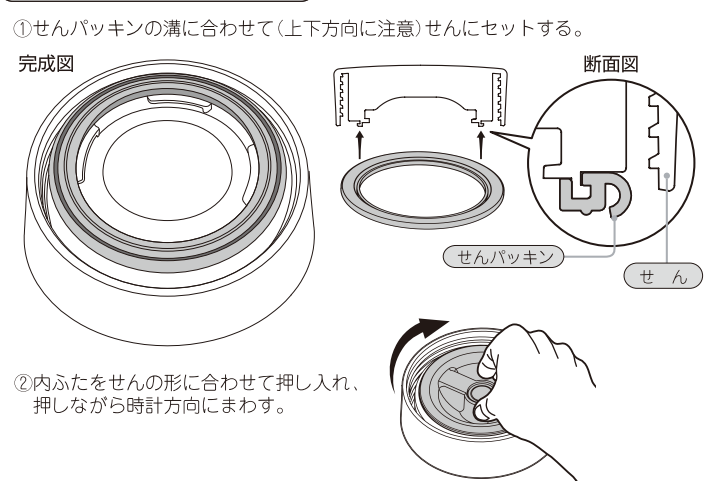
パッキンのはずし方取り付け方

お手入れなどで、パッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取りつける。

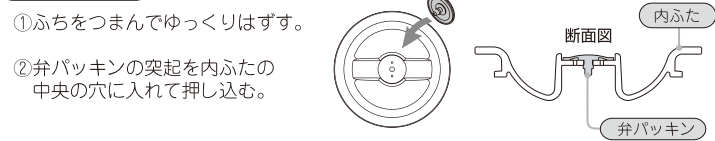
せんパッキンのはずし方



せんパッキンの取り付け方



弁パッキン



修理を依頼される前に

次の項目について点検をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症 状	点 検 す る と こ ろ	処 置
■せんからもれる	内ふた、せんパッキン、弁パッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。	「パッキンのはずし方取り付け方」を参考にし、取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	パッキンが汚れていませんか。	「お手入れの方法」を参考にし、お手入れをしてください。
	飲食物を入れすぎていませんか。	飲食物を少量減らしてください。
■本体内側、せん、内ふた、パッキンから異臭がする	飲食物を長時間入れたままにしたり、汚れが付着していませんか。	「お手入れの方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸を10%程度にうすめてお手入れをしてください。
	十分に熱い(冷たい)物を入れていませんか。	十分に熱い(冷たい)物を入れてください。あらかじめ本体内側を予熱(予冷)しておくとお効果的です。
■保温(保冷)が効かない	飲食物の量が少なくありませんか。	飲食物の量を多くすると効果的です。
	長時間保存していませんか。	できるだけ早く(6時間以内)一度にお召し上がりください。
■飲食物が腐敗した	生もの、果汁などを入れていませんか。	生もの、果汁など、腐敗や変質しやすいものは入れないでください。

※せん・パッキンは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買上げの販売店もしくはピーコック魔法瓶工業(株)のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ①ホームページ トップページの上のオンラインショップからお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- ②販売店 ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口 お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部 品 名
LKB型 せんセット(せん、せんパッキン、内ふた、弁パッキン)
LKB型 せんパッキン
LKB型 弁パッキン

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口

●受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

●ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489

●FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。

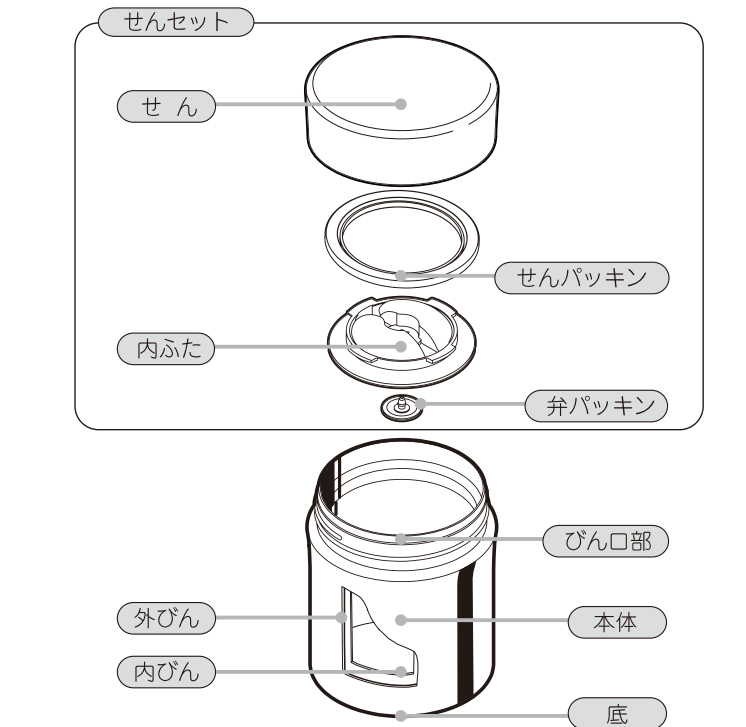
 **ピーコック魔法瓶工業株式会社**
本 社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

Peacock LKB

ステンレス製フードジャー

取扱説明書 このたびは、ピーコックスステンレス製フードジャーをお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

各部のなまえ



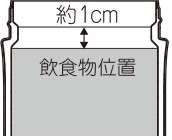
説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。

後々のため、この説明書を大切に保管してください。③

安全上のご注意

もれやあふれはやけどや他のものを汚す原因となります。

飲食物の保温・保冷以外に使用しない

乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。	倒したり、落したり、ぶつけたり、強い衝撃を与えない。	飲食物の量は、図の位置までにする。
 やけど、けがなど危険。	 破損・保温(保冷)効果の低下 サビ・塗装はがれ 内容物がもれる原因。	 入れすぎると、もれ・あふれ やけどのおそれ。
ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。	熱いやかんをびん口部に触れさせない。	製品の横置きは避ける。
 変形・変色の原因。	 転倒しやけどなどのおそれ。 傷・変形の原因。	 もれるおそれ。

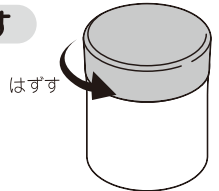
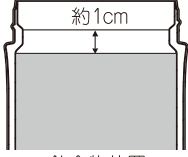
- **ドライアイス・炭酸飲料などは絶対に入れない。**
本体内の圧力が上がり、せんセットがあがなかったり、飲食物が吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。
- **生もの、果汁など変質しやすい飲食物は入れない。**
サラダや果物を入れる場合は、新鮮なものを使用し流水で洗浄して、十分冷やしてから本体に入れる。腐敗や変質のおそれ。
- **乳製品を含む飲食物や冷製スープなどは、必ず一度加熱処理したものを入れる。**
腐敗や変質のおそれ。長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲食物が吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。
- **本体の底に貼ってある保護シールは、絶対にはがさない。**
はがすと、保温（保冷）効力が低下するおそれ。

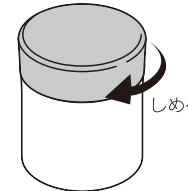
- **飲食物はできるだけ早く(6時間以内)食べる。**このとき飲食物は一度に食べきる。腐敗や変質のおそれ。
- **長時間の保存は避け、使用後はすぐにお手入れをする。**
外出時など十分なお手入れができないときでも、使用したあとはすぐに本体内部をよく水ですすぐ。腐敗・変質・カビの発生・におい移り・サビの原因。
- **熱い物を入れた場合は、やけどのおそれがあるので注意する。**
断熱効果により、熱い物を入れても本体外側は熱くなりません。
- **熱い物を入れ長時間放置すると、内部が減圧され、せんセットがあけにくくなったり、あけると、音がする場合がある。**
- **熱い物を入れた直後、本体を振らない。**内圧が急に上がりせんセットがあけにくくなったり、あける時、音がする場合があります。
- **大きな氷を入れる場合は、押し込まず小さくして入れる。**
また、アイスピックなど先のとがったもので突かない。
傷・もれ・変形など故障の原因。
- **せんセットは確実にしめて使用する。**もれ・やけどなどのおそれ。
- **内ふた・せんパッキン・弁パッキンは必ずつけた状態で使用する。**
もれ・やけどなどのおそれ。車内や衣服を汚す原因。
- **せんセットを持って運ばない。**
- **傾けた状態や顔の近くでせんセットをあけない。**
熱い物を入れた場合、内容物が急激に出たり、飛散してやけどのおそれ。
- **バッグなどに入れるときは、本体を縦に置く。**
万一のもれを防ぐため、必ず縦に置く。
- **パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。** 万一もれがあった場合、精密機械の破損の原因。
- **自動車運転中は使用しない。**
やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。
- **改造や分解修理はしない。** ● **冷凍庫に入れない。** もれなど故障の原因。

- **ご使用中、せんセットをあけた時に水が数滴こぼれ落ちる場合がありますが、これはせんの裏側やびん口部に空気中の水蒸気が結露して水滴となったもので、飲食物のもれではありません。**
- **電子レンジでの加熱はしない。** 火花が飛び危険。変形や変色の原因。

ご使用方法

ご使用前に内びん・せんセットなどを洗ってからご使用ください。

- 1 本体からせんセットをはずす**
本体からせんセットを、矢印の方向にまわしてははずす。
- 2 飲食物を入れる**
 - あらかじめ少量の湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)するとより効果的です。
 - 飲食物の量は図の位置までにする。

飲食物を入れすぎてせんセットをしめると、飲食物が吹き出したり後からもれ出すことがあります。飲食物を入れすぎた場合は、少量の飲食物を減らしてから、元どおりせんセットをしめてください。
- 3 せんセットをしめる**
本体を立てた状態でせんセットを矢印の方向にまわしてしめる。
※せんセットは確実にしめてください。

お手入れの方法

- ◆ ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
 - ◆ お手入れするときは、やわらかいスポンジ 以外は使用しない。
 - ◆ においを防ぐため、こまめにお手入れする。
- | | |
|-------------|--|
| 本体外側 | 本体をぬるま湯が水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふき取る。※つけ洗いはしない。 |
| 本体内側 | 台所用洗剤をうすめたぬるま湯が水で、柄のついたスポンジブラシなどできれいに内面を洗い、十分に乾燥させる。 |

お手入れの方法

つづき

- **せんセット** 台所用洗剤をうすめたぬるま湯が水で丸洗いし、乾いた布で水分をふき取る。
 - **せんセット**(せん、内ふた、せんパッキン、弁パッキン)は必ず分解してからお手入れする。
 - 乾燥は、分解したままでする。
 - 使用の際は、「パッキンのはずし方取りつけ方」を参考にして、元どおりに確実に取りつける。(飲食物のもれの原因)

- | お手入れ上の注意 | お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。 |
|---|---------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">● 漂白剤は使用しない。サビ・穴あきなど故障の原因。● シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。傷・サビなど故障の原因。● 本体・せんセットの煮沸および食器洗い乾燥機や食器乾燥器などの使用はしない。傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。● 本体は丸洗いができますが、つけ洗い(水中に放置)はしない。● 本体を丸洗いした後は、必ず水分をふき取る。ふき取らないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。● 長時間、汚れたままで放置したり、洗いが不十分な場合には、いやなにおいが発生したり樹脂が変色するので注意する。● 長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿をさせて保管する。 | |

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

- 使用中、水質や不純物などにより本体内部内に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。
- ① 定水量の熱湯にクエン酸を約10%加える。
 - ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内面を洗い、水で十分にすすぐ。
 - ③ 十分に乾燥させる。
 - 使用前、および使用後は十分にお手入れをしてください。においやサビなどを防ぎ清潔にご使用いただけます。
 - 他のものと一緒にお手入れをするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。